

2011年3月14日

ファーウェイ
華為技術日本株式会社

ファーウェイ・ジャパン 寄付金100万3千円を 京都府農村再生事業「共に育む『命の里』事業」へ贈呈

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

次世代通信ネットワークソリューションのリーディングプロバイダーであるファーウェイ・ジャパン(正式社名:華為技術日本株式会社、英語表記:HUAWEI Technologies Japan K.K.)は、「Smart for Simple」キャンペーンとして、キャンペーンサイト内プロジェクト特設ページ上 (<http://huawei-device.jp/donation/index.php>) にて、使用しているファーウェイ製端末を選んでクリックしていただくと、1クリック1円として、京都府が行う農村再生事業「共に育む『命の里』事業」へ寄付させていただき、ドネーションプロジェクトを行ってまいりました。

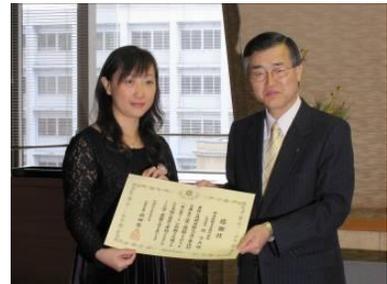
この度、こちらのドネーションプロジェクトにて寄付金100万3千円を寄付することとなりました。2011年3月10日(木)京都府庁副知事室にて、太田昇副知事へファーウェイ・ジャパン端末本部本部長、郭新心(カクシンシン)より寄付金の贈呈を行わせていただきました。贈呈時に、ファーウェイ・ジャパンの郭は「ファーウェイは世界に50カ国以上展開しているが、どの地域でもローカルに馴染んでいる。日本進出から5年が経っている今、多くのエンドユーザーに支えられてきたので日本に対して貢献させていただき機会を与えていただき嬉しい。」と述べました。それを受け、太田副知事は感謝状と記念品を贈呈するとともに、ファーウェイが「日本でも世界でもさらに発展されることを願っている。」とし、「京都府の命の里事業は、条件が違えど中国での農村の活性化にも何らかの参考になるのでは。」と述べました。寄付金は、「共に育む『命の里』事業」における京都の農村の活性化に活用されます。

ファーウェイ・ジャパンは、“スマートデバイス シンプルワールド”というコンセプトの下、生活を便利にしたい、世界の不便を解消したいという信念が、京都府の2010年10月から試行する「命の里」事業とつながり、今回の寄付実施を決めました。また、農村再生に貢献する商品やサービスに貼付する「命の里マーク」を、企業として初めて採用しました。今後も積極的に社会的支援活動を行ってまいります。

【3月10日(木)贈呈式の様子】



ファーウェイ・ジャパン郭より太田副知事へ寄付金の贈呈



太田副知事よりファーウェイ・ジャパンへ感謝状の贈呈



太田副知事よりファーウェイ・ジャパンへ記念品の贈呈



歓談の様子

※上記贈呈式のオフィシャル画像がご入用の際は下記事務局までご連絡いただければ幸いです。

【報道関係者様の問い合わせ先】

HUAWEI「Smart for Simple」キャンペーンPR事務局 担当:久野(クノ)・牧野
TEL:03-5572-6073 FAX:03-5572-6075 MAIL:huawei@vectorinc.co.jp

■京都府農村再生事業「命の里」とは？

京都府では、農村地域のかかえる後継者不足や、農林地の荒廃など各地域の抱える課題を、集中的かつ総合的に解決するための「共に育む『命の里』事業」を進めています。この事業では、安全な食料の生産、美しい景観や伝統文化の保全、森林や田畑による自然災害の防止など、府民の生活を支える「命の里」ともいべき農山村地域の、将来にわたる維持と持続的発展を図るため、平成21年度から5カ年程度の集中的支援を通じ、府内50地域を目標に農山村地域の再生モデルを育成していきます。

例えば、京都府宮津市日ヶ谷では、特産の里芋やゴボウを京都市内の錦市場へ出荷を開始するなど農業や獣害対策を中心に地域がまとまり、交流や定住促進活動を行っています。また、綾部市水源の里では、水源の里ブランドの特産品を京都市内等で販売することを強化しています。加えて、農家に観光客を宿泊させる農家民宿を推進し、都市農村交流への取り組みを本格化させています。

【「共に育む『命の里』事業」活動地域】

- | | | | |
|------------|-------------|---------------|---------------|
| 1. 宮津市世屋 | 6. 京丹後市神野 | 11. 福知山市雲原・金山 | 16. 京丹波町広野・大簾 |
| 2. 宮津市日ヶ谷 | 7. 与謝野町滝・金屋 | 12. 福知山市下豊富 | 17. 京丹波町和知北部 |
| 3. 宮津市上宮津 | 8. 伊根町本庄・筒川 | 13. 舞鶴市岡田中 | 18. 和東町湯船 |
| 4. 京丹後市宇川 | 9. 綾部市水源の里 | 14. 亀岡市旭 | 19. 京都市右京区宕陰 |
| 5. 京丹後市五十河 | 10. 綾部市山家 | 15. 南丹市竹井・仁江 | |

【活動の様子】



■HUAWEIの考える社会的責任について

ファーウェイは、世界中の電気通信関連企業とパートナーシップを築き、バリューチェーンからもたらされる利益を共有し、より良いグローバル・ビジネス環境の創出を目指しています。さらに、責任ある企業市民として、国連の「グローバル・コンパクト」のメンバーとして、世界各地で技術や教育などの支援活動を通じて、地域コミュニティをサポートしていくことに尽力しています。私たちは、優れた技術革新力、秀でた品質、高い効率性や強固な協力関係を結集して、電気通信産業が持つ可能性を追求し、革新的なアイデアを人々の生活に役立てることによって、人々の暮らしを改善することを目標にしています。

【HUAWEI (ファーウェイ) ジャパンについて】

ファーウェイ・ジャパン(正式社名:華為技術日本株式会社、英語表記:Huawei Japan K.K.)は、2005年11月、次世代通信ネットワークソリューションの世界的プロバイダーであるファーウェイ(中国語表記:華為技術、英語表記:Huawei)の日本支社として設立されました。現在では、世界のトップ50にランクされる通信事業者のうち、45社と取引実績があり、全世界で10億人以上のユーザーにご使用いただいています。ファーウェイの使命は革新的でカスタマイズされた製品、サービス、ソリューションを提供し、お客様に長期的価値と成長性をもたらすことです。ファーウェイ・ジャパンは、日本においてファーウェイの製品およびソリューション、サポートサービスなどを提供しています。詳しくは <http://www.huawei.com/jp/> をご覧ください。

【報道関係者様の問い合わせ先】

HUAWEI「Smart for Simple」キャンペーンPR事務局 担当:久野(クノ)・牧野
TEL:03-5572-6073 FAX:03-5572-6075 MAIL:huawei@vectorinc.co.jp